

3 ステ (野辺に咲く花) の構成と歌詞

- ・身近に咲いている花々を優しく包みこむような幻想的で色彩的な作品
- ・林望の詩集「花のうた」から上田真樹が恋を歌った5編を選び組曲化した。
- ・漢字を用いずすべてひらがなで書かれた「おと」で聴くための詩の世界を合唱で表現した。

1 つゆくさ：ひそかな恋

つゆくさのあおきしずくを
ふでさきに ふくませて
わたしはしろき きぬのうえにも
ささやかなおもいを かきましよう
だれにもとどかぬこのおもい
つゆくさのあおきしずくの
そのいろの かそけさは
こころをこめてかいたとしても
あらえはすぐに きえてしまいます
だれにもとどかぬ、このおもい
だれにもとどかぬ おおもい
つゆくさ しずかなそのあおは
わたしのこころの とどかぬおもい



2 あじさい：移り気

はなかげの ゆびさきを
うすむらさきにそめて
ひやりとほほえんでおりました
あじさいはついおく
あめのひのきおく
つゆさむのそらのおぐらさ
あじさいのそのみずのようなあおさは
かわりはててしまいました



3 すみれ 小さな幸せ

つつみにはるがくるならば
こみちにすみれがさきましよう
かわべにみなみのかぜふけば
のべにもすみれはさきましよう



けれども つつみにはるがきて
やがて こみちにひがさし
せいせいと かわべに くさがもえ
とうとうとのべにはさきみちても
けれども つつみにはるがきて
やがて こみちにひがさして
せいせいと かわべにくさがもえ
とうとうと のべにはさきみちても
わたしのこころに すみれのはなのさきもせて
すみれ わたしのこころの すみれぐさ

4. わたすげ：揺らぐ想い

もういちどこにくることがあるかしら
ちをはいうようにふくかざに
ちぎれそうにゆれる わたすげ
やがてわかれのときがきて
こうしてなつのひもはやおわろうとするとき
ふいてくるかぜのさむさに
ひはかたむき、そして わたすげ
ついにわかれのときがきて



5 わすれなぐさ：私を忘れないで

すいしょうのように とうめいに
うみのようにあおく
おもいでのように かすかに
あさつゆのようにきらめく
わするるなかれと いうくさの
そのはなのいろの かすけさ
ひとは だれもかなしいことを
そして うれしいことだって
いつかわすれてしまいます
どんなにたくさんのわすれなぐさを
そのてに つんでみたとても
ひとは だれもかなしいことを
そして うれしいことだって
いつかいつかわすれてしまいます

